

なばり

2013年(平成25年) 8月11日発行

主な内容

- 1……地域を走る。つなぐ。コミュニティバス
- 2・3……名張市立病院だより「きらり」
- 4……9月の相談、健康エブリデー、農作業賃金の協定基準

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp



利用者の声 高山 晃治さん(桔梗が丘西3)

「出かけるときはいつもナッキー号で」

事故で自動車の運転ができなくなり、運転免許証を返納しました。返納してからの移動手段は、「ナッキー号」です。

大好きなターゲット・バードゴルフをするために中央公園に出かけるときや、市立病院への通院などに利用しています。先生にもご協力いただき、病院の予約を到着時間に合わせるなど、「ナッキー号」の時間に合わせて生活しています。

いつも利用するので、運賃100円は経済的にも助かりますね。「ナッキー号」での顔なじみもでき、乗車中の会話も楽しみの一つになっています。

新たな公共交通システムへ

市内では、利用者の減少により既存の路線バスが廃止された「交通空白地域」や、最寄りのバス停や駅まで徒歩による移動が困難な「交通不便地域」があります。また、起伏のある地形や山間地が多くを占める市の地域特性に加え、高齢化が急速に進んだ現在、マイカーの利用を望まれる人の割合が増えています。

6路線のコミュニティバス

現在、公共施設や大型商業店舗などをつなぎ、路線バスを補う形で、市は、市街地循環型コミュニティバス

こうした背景から、これまで民間の交通事業者では、十分に対応できないニーズに対応するため、地域と行政が協働で、新たな公共交通(コミュニティバス)システムを構築する取組みを進めています。

これからの既存の路線バスや鉄道が市民の移動手段の中心です。各コミュニティバスが、路線バスや鉄道との乗り継ぎの連携を図ったり、利用者ニーズを踏まえながら安定的な運営体制を整えたりすることで、子どもから高齢者までの適切な移動手段の確保につながります。ぜひお出かけの際は、コミュニティバスをご利用ください。

地域を走る。つなぐ。コミュニティバス







「交通空白地域」や「交通不便地域」などを解消するため、地域と行政が協働で、新たな公共交通システム(コミュニティバス)の取組みを進めています。

今号では、市内6路線あるコミュニティバスを紹介します。

国都市計画室 ☎63・7749

ティバス「ナッキー号」を運行しています。また、市内5つの地域では、地域住民の皆さんによるコミュニティバス運営協議会などが組織され、廃止された路線バスをカバーするなど、地域の実情に合わせたコミュニティバスの運行が行われています。

これからの既存の路線バスや鉄道が市民の移動手段の中心です。各コミュニティバスが、路線バスや鉄道との乗り継ぎの連携を図ったり、利用者ニーズを踏まえながら安定的な運営体制を整えたりすることで、子どもから高齢者までの適切な移動手段の確保につながります。ぜひお出かけの際は、コミュニティバスをご利用ください。

市内のコミュニティバス大集合!	市街地循環型コミュニティバス ナッキー号	 ① 市街地循環 ② 100円(6歳未満無料) ③ 33人乗りバス ④ 名張市	薦原コミュニティバス コモコモ号  ① 薦原地域~桔梗が丘駅 ② 100円(未就学児無料) ③ 39人乗りバス ④ 薦原コミュニティバス運営委員会
	国津コミュニティバス あららぎ号	 ① 国津地域~つつじが丘~名張駅 ② 200~450円(6歳未満無料) ③ 10人乗りワゴン車 ④ 国津コミュニティバスあららぎ号運行協議会	緑が丘コミュニティバス みどり号  ① 緑が丘内循環~桔梗が丘駅 ② 100円(未就学児無料) ③ 39人乗りバス ④ 緑が丘コミュニティバス運営協議会
	錦生コミュニティバス ほっとバス錦	 ① 名張市役所~錦生地域~宇陀市一部区域 ② 100~500円(未就学児無料) ③ 44人乗りバス ④ ほっとバス錦運営協議会	美旗地域コミュニティバス はたっこ号  ① 南古山~伊賀市きじが台~桔梗が丘駅 ② 200円、小学生100円(保護者同乗の未就学児・障害のある人は無料) ③ 40人乗りバス ④ 美旗地域コミュニティバス運営協議会

◎詳しい運行ルートや時刻表などは、市ホームページをご覧ください。国都市計画室(☎63-7749)へお尋ねください。

読者の声
広報メールサポートから...

7・4号掲載「増加する救急」について ▼私の住んでいる地域でも最近救急車の音が増えてきたと感じています。地域の高齢化もあるかもしれませんが、救急車の呼び方などももう一度考えた方がいいなと改めて思いました。 ▼軽症者の具体的な例を記載して欲しい。